

どこに向かう? 国連



国連データ

本部	アメリカのニューヨーク	発足	1945年10月
加盟国数	193カ国(発足時は51カ国)		
公用語	アラビア語、中国語、英語、フランス語、ロシア語、スペイン語(主に使われるのは英語とフランス語)		
予算	約2600億円		
職員数	約4万人(関連する機関を含めると約7万人)		

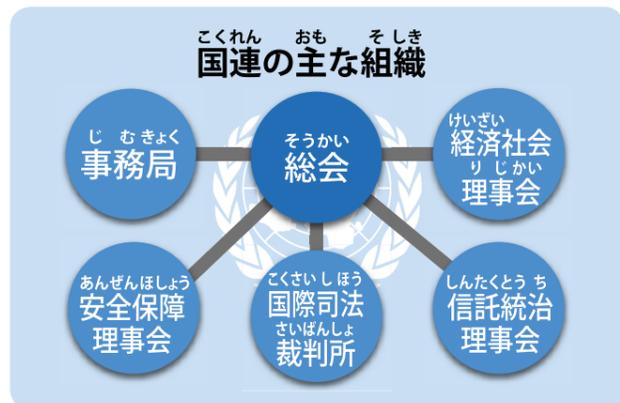
第二次世界大戦の反省から生まれた

多くの人命が失われた第二次世界大戦*。国連はその反省から生まれた。世界の平和と安全、人権の尊重、豊かな社会の実現の三つを主な目的として、加盟する国同士で協力し合う国際的な組織だ。

*第二次世界大戦……1939年から、日本やドイツを中心とした枢軸国と、アメリカやイギリスを中心とした連合国が行った戦争。1945年に連合国の勝利で終わった。

1国1票で投票する総会

図のように、国連には六つの主な機関がある。そのうち最も重要なのが総会だ。全ての加盟国が参加するところで、予算など大切なことを投票で決める。人口や経済力、武力などに関係なく、加盟国は1国1票と決められている。



国連総会の様子

このほかにも、教育や文化の発展を目指す国連教育科学文化機関(ユネスコ)や、発展途上国の子どもたちを支援する国連児童基金(ユニセフ)など、国連にはさまざまな分野の機関があるのだ!



1945年に生まれた国際連合(国連)は、これまで世界の平和や人々の権利などのために、さまざまな活動を行ってきた。しかし近年、国境を超えるテロや増え続ける難民などの課題に対し、うまく機能していないという声もある。そのような中、国連の顔ともいえる事務総長は、現職の潘基文さんの任期が今年いっぱい、後任選が注目されている。

国連はどんなところで、これからどこに向かおうとしているのか。

平和と安全の事柄を決める 安保理

安全保障理事会(安保理)は、世界の平和と安全にかかわる事柄を決める機関だ。国際秩序を乱す国などに対し、制裁(こらしめ)を加えることができる。国連の軍隊である国連軍*をつくるかどうかや、国連平和維持活動(PKO)を行うかどうかなども決められる。

キーワード 国連平和維持活動(PKO)

争いを続ける国などに対し、平和的な解決を支援する活動。停戦や軍の撤退の監視、公正な選挙の実施や道路の建設など、争いで荒れた社会や国土の復興を手伝う。加盟国の兵士や警察などが、国連の要請に応じて派遣される。現在16の場所で、約12万人が活動している。1988年にノーベル平和賞が授与された。



アフリカのマリでPKOに参加している兵士たち=2015年10月

*国連軍……安保理の決議を受け、国連の指揮の下で戦う軍隊。これまでにつくられたことは一度もない。

五つの常任理事国が中心

安保理は、アメリカ、イギリス、フランス、ロシア、中国の常任理事国と、2年に1度総会で選ばれる非常任理事国10カ国で構成されているんだぜ。多数決が原則だけど、常任理事国には拒否権があつて1カ国でも反対すれば、その事柄は成立しないんだぜ



安保理の様子

国際的なテロや難民など、課題は山積

国連は今、どのような課題を抱えているのだろうか。

例えば中東のシリアでは、2011年から政府と反対勢力の内戦が続き、そのすきに国際テロ組織イスラム国(IS)が台頭し、世界中でテロを起こしている。また400万人以上が難民となり、周辺国やヨーロッパに渡っている。しかし国連は有効な手を打てていない。

背景には、常任理事国の拒否権で足並みがそろわない▽予算が足りない▽組織が大きく素早く動けない——などが挙げられている。新しい事務総長の手腕に期待がかかっている。

国際社会を取り巻く主な課題

- 増える難民
- ISなどの国際テロ組織
- 地球規模の環境破壊
- 豊かな国とそうでない国の格差
- 伝染病など短期間で世界に広がる病気

これらの問題は、それぞれ単独で存在するのではなく、貧しさや衛生状態を悪化させ、病気を流行させるように、みんな複雑に絡み合っているだけじゃ! 解決には時間と根気、そして十分なお金が必要なんだじゃ!



加盟から60年



PKOの一環として、紛争から逃げてきた人を保護するための壁を工事する自衛隊員たち＝南スーダンの首都ジュバ近くで2015年7月

核軍縮を訴え続ける

世界で唯一の核兵器による被爆国として、日本は常に核軍縮を訴えてきた。20年以上、総会で「核兵器廃絶決議案」を提出し続けている。2015年には166カ国の賛成を得た。強制力はないものの、核軍縮を世界にアピールしている。また1989年から、国連軍縮会議を毎年、国内で開催している。15年は広島市で開かれ、23カ国の担当者や専門家などが集まって議論を交わした。



原爆慰霊碑前に置かれた献花台に花をそなえる国連軍縮会議の参加者たち＝広島市で2015年8月

大きな足跡を残す日本人も

国連や関連する機関で、大きな足跡を残した日本人もいる。明石康さんは若いころから国連に勤め、ナンバー3にあたる事務次長になった。内戦で混乱したカンボジアの復興を担う組織の長として力を尽くした。緒方貞子さんは大学の先生などを経て国連で働くようになり、国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）のトップになった。困難の中にある難民に、それまで以上に積極的に手をさしのべる方針を打ち出した。現職では、原子力の平和的な利用を進める国際原子力機関（IAEA）の長である天野之弥さんなどが活躍している。



明石康さん



緒方貞子さん



天野之弥さん

日本の役割

日本が国連に加盟したのは1956年で、世界で80番目だった。終戦から11年たって、ようやく国際社会に復帰した。今年は加盟60年の節目の年にあたる。国連を通じて日本が果たしてきた役割や課題を見てみよう。

アメリカに次ぐ2番目の負担金

国連の予算のうち、日本はアメリカに次いで2番目の負担をしている。2016年は総額約2600億円のうち、9.6%にあたる237億円ほどが割り当てられている。

負担金の割合と金額

	割合 (%)	金額 (億円)
アメリカ	22	594
日本	9.6	237
中国	7.9	193
ドイツ	6.3	156
フランス	4.8	119

少なすぎる!? 日本人職員

国連や関連する機関で働く人は約7万人いて、運営の中心となる専門職は約3万人。でも、そのうち日本人は800人ほどなんだ。職員の出身地は、負担金の額などを参考に決められるため、本来なら日本人はもっといていいはず。でも、英語などを自由に操る高い言語力や、国際政治への深い知識などが必要のため、なかなか採用に至らないんだって



防災や医療の分野でも

地震などの災害が多い日本は、その体験や積み重ねてきた防災技術を世界に広げるため、国連防災世界会議をリードしている。また、国連を通じて日本が提供し喜ばれているのが蚊帳だ。アジアやアフリカなどの発展途上国では、マラリアなど危険な病気を蚊が仲立ちし、命を落とすこともある。蚊から身を守る日本の伝統が世界で役立つ。

蚊帳の中で眠るスリランカの赤ちゃん＝2005年6月



変わるPKO

1万人以上が参加

日本は1992年に「PKO協力法」をつくり、同じ年の9月にPKOに初めて参加した。最初はアフリカのアンゴラに選挙の監視員を3人派遣した。次に東南アジアのカンボジアに、道路などの建設のために約600人の自衛隊員を派遣した。これまでに自衛隊員のほか、警察官や政府関係者らをあわせて、のべ1万人以上が参加している。2011年からは、アフリカの南スーダンでのべ2,000人以上が活動している（南スーダンについては10ページの特集をご覧ください）。

憲法9条とPKO5原則

日本国憲法の9条は、日本は武力を持たず、争いの解決に使わないと定めている。そのため、自衛隊のPKOへの参加や武器の使用などについては、五つの原則を守るように法律で決められている。

PKO参加の5原則

1	紛争をしている人たちの間で停戦の合意が成立している
2	紛争をしている人たちがPKOや日本の参加に同意している
3	中立の立場を守る
4	1～3のいずれかが満たされない場合には部隊を撤収できる
5	武器の使用は要員の生命を守るために必要最小限のものに限られる

「駆け付け警護」など法改正で可能に

今年3月に施行した「安保関連法」によって、自衛隊がPKOでできることが増えた。国連職員などが紛争地域で襲われたときに助けに向かう「駆け付け警護」と、町を見回って治安の悪化を防ぐ「治安維持活動」だ。また現地で寝泊りする宿営地を、ほかの国の軍とともに守る「共同防衛」も可能になった。

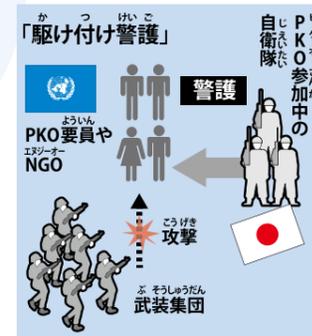
武器を使うかもしれない範囲が広がったことで、これまでより危険にさらされるかもしれないという見方がある。一方で政府は、訓練などで危険は減らせると考えている。

これまでに日本が参加したPKO



- 自衛隊が参加したもの
- 自衛隊が参加していないもの

日本のPKOは、常に憲法9条と国際貢献の間で揺れている。もともと1992年に参加したのも、「日本はお金だけで人的な貢献がない」という批判を受けたため。国際貢献のあり方には、いろいろな意見があるわ。「憲法を厳密に守り、その範囲内で行えることをすべきだ」という人もいれば、「憲法はむやみに武力を使うことを禁じていて、日本の安全や世界の平和を守るための最低限の使用は認められる」と解釈し、PKOなどで積極的に活動すべきだという人もいるの



キーワード 安保関連法
2015年に成立した「国際平和支援法」とPKO協力法など関連する改正10法をひとくくりにした呼び方。日本と友好関係にある国が攻撃されたときに反撃できる「集団的自衛権」が使えるようになるなど、自衛隊の活動の幅が大きく広がった。

PKOでは過去、2人の日本人が亡くなっただけじゃ。カンボジアで公正な選挙を実施する支援をしていて襲われた国連ボランティアの中田厚仁さんと、岡山県警の高田晴行さんだけじゃ。武器を使うかもしれない範囲の拡大がどういった事態を招くのか、ちょっと不安だじゃ



武器を使う可能性高まる 求められる政府の説明

日本のPKOは今後どうなるのだろう。毎日新聞社会部の町田徳丈記者に話を聞いた。

安保関連法により、PKOにおける自衛隊の武器の使用は、「自分の身を守る」ものから、妨害する相手を「排除する」ものに変わります。自衛隊の中には、危険が増すという声がある一方で、「これまでも駆け付け警護に似たようなことは行っていて、現実に法律が追

いついだけ」という声も聞かれます。ただ武器を使う可能性が高まったのは事実です。政府には、これまで以上に「なぜ今そこに」PKOを派遣するのか、国際社会にとってはもちろん、日本にとってどんなメリットがあるのかを、きちんと説明する必要が出てきます。



町田徳丈記者

国連の顔

事務総長が変わる

国連の顔ともいえる事務総長が来年1月、現在の潘基文さんから新しい人に代わる予定だ。事務総長について詳しく見てみよう。



次はだれ?

大国からは選ばれていない

これまでに事務総長は8人いて、ノルウェーやエジプトなどの出身者でみな男性だった。安保理の常任理事国のような大国からは選ばれていない。地域の持ち回りが慣例で、アジアの韓国出身の潘さんは、2代続いたアフリカ出身の事務総長からバトンタッチされた。

考える ? なぜ大国からは選ばれていないのだろうか?

平和に貢献、ノーベル賞も

平和に大きく貢献したとして、ノーベル平和賞を受賞した人もいる。スウェーデン出身の2代目、ダグ・ハマーショルドさんだ。現在のPKOのもとになる活動を考え出した人で、国連の強化に尽くしたことを評価された。飛行機事故で亡くなった後、1961年に受賞した。またガーナ出身の7代目、コフィ・アナンさんが、積極的な平和維持活動などを理由に、平和賞創設100周年にあたる2001年に、国連そのものとともに受賞した。



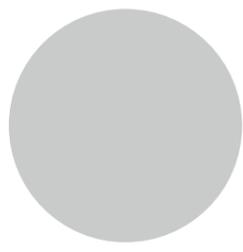
ダグ・ハマーショルドさん

中立の立場で平和のために動く

事務総長は軍縮部、平和維持活動局などがある事務局のトップだ。国々の損得をはなれて中立の立場で国連の運営を行う。世界に向けてメッセージを発信したり、争いなどの仲裁に動いたりもする。任期は5年、慣例で2期までとされている。

候補は10人 来年1月に就任

次の事務総長には、ポルトガルの元首相アントニオ・グテレスさんやニュージーランドの元首相ヘレン・クラークさんから、10人が名乗りを上げている。今後、安保理があらかじめ1人にしぼって総会に勧告(強い意見のこと)し、年内に総会で任命され、来年1月に就任する予定だ。



ヘレン・クラークさん

教えて根本さん! 国連Q&A

まだまだ知りたい国連のこと。国連広報センターの根本かおる所長に、ダグたちが話を聞いた。

Q 今度決まる事務総長って、要するに世界の大統領みたいなものだけじゃ?



A 国連は加盟する国々が意見を交わし、合意をする場です。加盟国の上立つ組織ではありませんので、事務総長を世界の大統領と見るのは誤りです。もちろん円滑な運営の責任者として、ときには国際社会のために率先して行動することもあります。各国に何かを強制する力はありません。強制力を持つのは安保理の決議だけです。

Q 本部はニューヨークにあるんだろ? ちょっと遠すぎるぜ!



A 日本には、東京都にある国連の研究機関「国連大学」の本部をはじめ、ユニセフなどさまざまな機関の事務所が27もあります(8月末時点)。場所は東京のほか愛知や大阪、福岡の1都1府8県です。国連は加盟国の国民、つまりみなさんのものでもあります。よいアイデアがあれば、ぜひわたしたちに教えてください。すばらしいものは、きっと世界中に届くでしょう。

Q 国連って必要か? 国際的なテロや難民、病気の流行などの課題に対応できてないって聞いたのだ!



A 「万全ではないが、必要な組織」という見方につきます。近年、うまくいかなかった部分があるのは事実です。しかし国連は長く世界の平和と安全、人権の尊重、そして豊かな社会づくりに貢献した結果、国際的に最も注目される場となりました。政府関係者だけでなく、企業やボランティア、学者など多くの人の知識や経験が集まります。これらを生かしながら、課題に向き合いたいと考えています。

高校生や大学生の国連がある!?

国際政治を学ぶことを目的に、国内外の高校や大学で授業やサークル・部活動として行われている「模擬国連」という活動がある。参加者はいずれかの国の代表役となり、「貧困」などのテーマにかなして、その国の事情を学んで政策をつくる。そして各国の代表役が集まる会議で、国連公用語の一つである英語で演説したり交渉したりする。会議後は内容を振り返り、理解を深める。

国際大会もあり、2016年5月にアメリカのニューヨークで開催された高校生の大会では、日本の麻布高校(東京都)が2位にあたる優秀賞を受賞した。

模擬国連に参加し、各国の代表役をつとめる高校生たち=2016年7月

人々の幸せのために世界をリード

人々の自由と平等を求める「世界人権宣言」が国連総会で採択されたのは、1948年でした。まだ人種差別や植民地がたくさんあったころです。その後、人権意識が次第に高まり、現在に至ります。このように、国連が世界をリードした物事はたくさんあります。そしてこれからも、世界のために、そして人々の幸せのために役立てるものと考えています。

子どもの人権を守る「子どもの権利条約」も、国連総会で採択されたものです。実はみなさんとも深い関係があるのです。ですから、遠い関係のない組織などと思わずに、少しでも国連のことを知ってもらえればうれしいです。

アクセスしよう
国連広報センターホームページ <http://www.unic.or.jp>



根本かおるさん